

## 2019年度（第85回）

### 関西オープンゴルフ選手権予選競技 会場 D

期 日 2019年4月12日 予備日4月15日  
場 所 有馬ロイヤルゴルフクラブ・ロイヤルコース

一般社団法人 関西ゴルフ連盟

#### ローカルルール

1. アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。  
ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のコース上の区域に止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
2. 修理地は白線によってその縁を定める。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭または黄線、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。線と杭が併用されている場合は線がその縁を定める。
4. ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 特定の用具の使用制限
  - a. 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型 G - 1』を適用する。
  - b. 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G - 2』を適用する。
  - c. 『適合球リスト・ローカルルールひな型 G - 3』を適用する。
  - d. 『動力付き移動機器の使用禁止・ローカルルールひな型 G - 6』を適用する。  
ただし、ホールとホール間の移動および委員会が認めた場合や、事後承認された場合を除く。  
また、キャディーが乗用カートに乗ることは認められる。
  - e. 『ワンボールルール・ローカルルールひな型 G - 4』を適用する。
  - f. 『距離計測機器の使用禁止・ローカルルールひな型 G - 5』を適用する。
7. 規則 10.3a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。  
ローカルルールの違反の罰；
  - ・そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらった各ホールに対して一般の罰を受ける。
  - ・違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
8. 規則 5.5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
  - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
  - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
9. 規則 5.2b は次のように修正される：プレーヤーはラウンド前にコース上で練習してはならない。
10. 危険な状況のためのプレーの中断及びその他すべての中断及びプレーの再開は全て、サイレン及びカート付設の無線によって伝えられる。（規則 5.7b 参照。）
11. コース上のすべてのヤーデージ杭は、規則 16.1 に基づき罰なしの救済が認められる動かさない障害物として扱われる。規則 15.2 に基づいて救済を受けることはできない。  
ローカルルールの違反の罰：一般の罰。
12. 修理地の白線で囲まれた区域とその区域につながられた動かさない障害物は、規則 16.1 に基づいて救済を受ける場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
13. パッティンググリーン前後やフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリア部分にあるペイントの線や点は規則 16.1 に基づく救済が認められる修理地として扱われる。しかし、ペイントの線や点がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。  
ローカルルールに違反して誤所から球をプレーした事に対する罰：規則 14.7a に基づく一般の罰。

14. プレーヤーの球が張芝の継ぎ目にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合：

- (a) ジェネラルエリアの球。そのプレーヤーは規則 16.1b に基づいて救済を受けることができる。
- (b) パッティンググリーン上の球。そのプレーヤーは規則 16.1d に基づいて救済を受けることができる。

しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後にどの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から 1 クラブルングス以内にある場合でも、そのプレーヤーは規則 14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。

ローカルルールに違反して誤所から球をプレーした事に対する罰:規則 14.7a に基づく一般の罰。

#### 注 意 事 項

1. 練習は指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 箱を限度とする。
2. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則 10.2 により罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
3. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
4. プレーヤーまたはそのキャディーにエチケット違反、または非行があった場合には「KGU 細則第 43 条」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2a に基づいて失格とする場合がある。

競技委員長 池田 孝晴